



創刊号

2007年7月31日

上北沢桜並木会議 発行

上北沢桜並木会議ホームページ

<http://www.sakuranamiki.org>

◆上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、地元住民の長い努力のもとに維持され、地域のシンボルとして多くの人に親しまれてきました。昭和59年「せたがや百景」、平成14年「世田谷区風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に選ばれました。しかし、この桜の木は年々弱っています。自転車や車などで傷つけられたり、老朽化も進んでいます。上北沢桜並木会議は、桜を愛し、桜を育む人々で結ばれ、上北沢の歴史や文化を考えるコミュニティをつくっていくことをめざしています。定例会、日曜ミーティングには、現在、地域の方々、鳥山総合支所の職員の方など、毎回約10名が参加して、勉強会や意見交換を行っています。そこで得られた結論から、いろいろな活動を行っています。ぜひ、日曜ミーティング（毎週午前10時～12時・上北沢区民センター）や、お知り合いの世話人などへ、ご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

◆<桜のわ> 創刊号！！ 地域の方々に我々の活動を知っていただくために創刊号を発行いたしました。

7月は総会がありました

●7月は、総会(7/8)と定例会(7/17)がありました。

・総会では、過去1年間の活動のまとめ・反省と、新しい1年の活動計画を話し合いました。今年は26名の参加者があり、「桜の木の維持・保全方法」や「地域の歴史を残す活動」などについて討議しました。特に、街の問題である「松沢病院の問題」や「路上禁煙運動」にもっと取り組んでほしいとの意見が出ました。（裏面をご参考照下さい）

・定例会は、桜並木会議の活動を決める正式な打ち合わせ会です。地元住民ばかりでなく、行政からも出席者があり、活発な話し合いが行われています。区から、老人の死亡事故があった松沢病院南側道路の形の変更を都と協議中という報告がありました。

●今後の予定

・次回定例会：平成19年8月21日(火)
18:30～：上北沢区民センター「第1会議室」

・9月30日(日)桜並木実態調査
石井樹木医ご指導、実態調査後セミナー実施予定

桜並木の話題

●「地域コミュニティ活性化支援補助金」交付決定！

以前から区に申請していました補助金の交付が、7月17日付けで決定されました。申請団体が多いため競争が激しくなっていたので、申請額の減額が心配されていましたが、金額にこだわらず、活動が認められたことが喜びと励みになっています。

●桜にヤニが出来ているのは、<コスカシバ>という害虫の幼虫が樹の中に入り込んでいる為です。桜を弱らせます。この時期には、幼虫から成虫になって、黒い縞模様の蜂ぐらいの大きさの成虫が飛んでいます。出来れば退治してください。

●<アイドリング・ストップ運動>私たちの桜並木は、踏み切りに近いブロックの桜ほど、弱っているって 知っていますか？ これは、車の排気ガスによる影響が大きいと思われます。もちろん、人体にも、大きく影響していることは確かです。皆さんで、アイドリングしながら、駐車している車を見つけたら一言「アイドリングストップ運動にご協力を！！」とドライバーに声をおかけ下さい。



緑深まる桜並木はまた、美しい。7月梅雨の真っ最中。道路舗装で固められた上北沢の桜にとって貴重な雨が続きます。また、来春はきっと美しい花を咲かせてくれることでしょう。緑のトンネルでちょっとした森林浴を楽しむませんか。

上北沢桜並木会議が、上北沢の桜並木だけのことだけでなく、上北沢の街のこと、ひいては、世田谷のこれから先の“健康で生きて行けるか”ということまで考えている会ということに驚き、感銘を受けました。
(3丁目女性)

この機会にぜひ、上北沢の街を見直したいと思います。特に将来の松沢病院のあり方を考える絶好の機会で、「医療観察病棟などを造るのなら全部出て行ってくれ」と言っても良いと思います。言うべき意見ははっきりと言い、行政側に住民の意思を伝えることが非常に大切です。“絆作り”は大変成功しているといえますが、それは手段であって、目的は“良い街づくり”にあります。将来を担う若い人達の意見を聞くことが大事だと思います。

(3丁目男性)

総会の意見

上北沢には桜、道路、松沢病院、この3つの問題があることがわかりました。これらは、より良い住環境を自分たちの時代だけでなく、孫の世代まで維持していきたいという気持ちだと思います。駅の前を騒がしい環境にしていくことは間違っていると思います。多少不便があっても、住宅だけの街であっても、良い環境を保持できる街にしたい。商店街が空洞化している状況の中で、街全体をどのようにしたらよいのか、上北沢桜並木会議に参加しながら考えていきたいと思っています。

(3丁目男性)

いろいろな問題は地域社会の連携で解決していくということをこの会で学んでいます。

(3丁目男性)

私に出来ることをやっていこうと思います。桜の木がだんだん弱っているので、下草に「玉龍」を植えています。ほこり除けと土が良くなる効果があります。桜もきれいですが、小さな花がついていて桜並木をきれいにすることに貢献しています。時間がある限りこれを増やしていきたいと思います。

(5丁目女性)

住民の方が何を考え、ご家族が何を考えているのか吸い上げることも大切です。日曜ミーティングや月例会の内容をもっとお伝えしていくことが大切だと思っています。

(3丁目男性)

桜並木の方、町会の方、(区の)職員の方のお話を聞いて、街には非常に真剣に考えている方がおられる。この街をいい街だと思っている方々がいっぱいおられる。そのような方が中心になって進めれば、街のあり方を考えるのはそう難しくないのではないかでしょうか。

(まちづくりコンサルタント)

東京都の私鉄沿線の中で、住みやすい街ベスト5の中に、上北沢が選ばれています。非常にすばらしいことです。他に千歳烏山、学芸大学、自由が丘などがあり、上北沢はその中で一番ごみごみしていない静かな街だと思います。ところが、松沢病院問題で住宅地の価値が下っていく、財産価値が減るのではないかという人がいます。財産価値を守るためにも、皆でこの問題に取り組み、環境を守ることに、少しづつでもあせらずに進める必要があると思います。

(1丁目男性)

上北沢に住んでることを、自慢し、誇りに思えるような街にしたい。(3丁目女性)

＜絆＞というお話がありましたが、人との結びつき、親子の問題、街を作っていく上では一人一人の絆が大切でしょう。この絆が、大きな声につながって、行政を動かすと考えております。いろいろな問題、例えば松沢病院の問題などは、住民の中から声を挙げて頂く事が大切だと思います。行政の人達も、こうした声を考慮して、住民の目線で行政を進めて行かなければならぬと考えています。

(世田谷区からの出席者)